

大山町消防団名和分団

県操法大会で健闘

鳥取県消防ポンプ操法大会が、7月3日(日)に鳥取県消防学校(米子市流通町)で行われました。県内の各地区大会を勝ち抜いた12チームがポンプ車操法の部に出場しました。

西部地区からは大山町消防団名和分団と伯耆町消防団が西部地区の代表として出場しました。

時折雨の降る不安定な天候でしたが、出場選手たちは指



▶ 整列する名和分団のみなさん

揮者の号令に従いながら、消防操法をきびきびとした動作で行い、日ごろの練習の成果を発揮しました。上位チームはどのチームも接戦となり、名和分団は健闘しましたが、僅差で惜しくも4位という結果でした。



▶ 目標物に放水する名和分団

大山町空き家・空き地 情報活用制度に係る 空き家等仲介に関する 協定を締結しました

6月27日に大山町は、公益社団法人鳥取県宅建物取引業協会西部支部と、「空き家・空き地情報活用制度に係る空き家等仲介に関する協定」を結びました。

この協定は、空き家・空き地対策の取り組みをより円滑、効果的に運用するためのものです。

今後は、宅建協会(西部支部)と相互に連携を図り、町内にある空き家等の売買及び賃貸の契約を推進し、移住定

住の促進に取り組んでいきます。



▶ 協定書を交わす森田町長と渡邊支部長

ボランティアも鉄人

選手をサポート!

第36回全日本トライアスロン皆生大会が、7月17日(日)に行われました。

スイム3キロ、バイク140キロ、ラン42・195キロに挑む過酷なレース。個人の部に過去最高の922人、リレーの部に61チームが出場しました。大山町はバイクコースとなっており、選手はアップダウンの続くコースでの激闘を繰り広げました。

中山農業者トレーニングセ

センターに設置されたエイドステーションでは、米子松蔭高校の生徒や、大山陸上の小学生たちがボランティアで活躍。次々とやってくる選手に声をかけ、飲み物の入ったボトル、バナナやおにぎりなどを手早く渡していました。ボランティアに参加した子どもたちは「選手のがんばりが伝わってきてすごい」と目を輝かせていました。



▶ エイドステーションは選手のおアシス